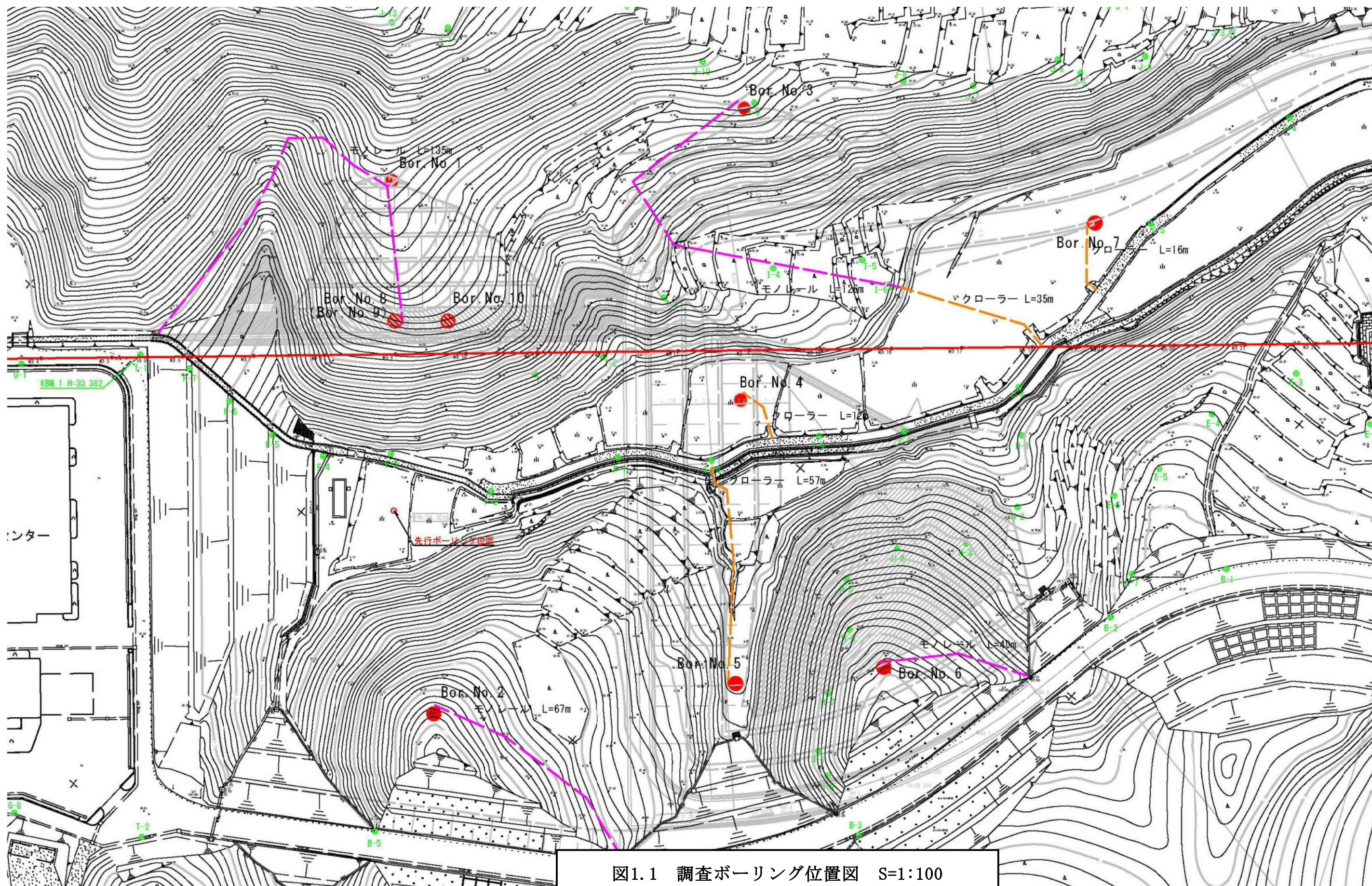


地 質 調 査 結 果

(令和元年度調査)

表1.1 調査数量一覧表

Bor No.			1	2	3	4	5
調査 ボーリング	φ66	粘土・シルト	4.0	2.0	1.7	0.0	0.0
		砂質土					
		礫混じり土	0.0	5.0	1.8	1.3	2.4
		玉石混り土					
		軟岩	4.0	3.0	3.5	8.7	4.6
	計		8.0	10.0	7.0	10.0	7.0
標準貫入 試験 (回)		粘土・シルト	3	1	1	0	0
		砂質土					
		礫混じり土	1	5	2	1	2
		玉石混り土					
		軟岩	4	4	4	9	5
	計		8	10	7	10	7
足場仮設 (箇所)		平坦地				1	
		傾斜15～30	1	1	1		1
		傾斜30～45					
特装車運搬		100m以下			1	1	1
モノレール仮設・運搬		50m以下					
		50～100m		1			
		100～200m	8と共用		1		
Bor No.			6	7	8	9	10
調査 ボーリング	φ66	粘土・シルト	3.8	0.0	0.7	0.0	1.7
		砂質土					
		礫混じり土	0.0	3.0	0.0	0.9	1.9
		玉石混り土					
		軟岩	3.2	3.0	3.3	19.1	16.4
	計		7.0	6.0	4.0	20.0	20.0
標準貫入 試験 (回)		粘土・シルト	3	0	0	0	1
		砂質土					
		礫混じり土	0	2	0	0	2
		玉石混り土					
		軟岩	4	4	4	20	17
	計		7	6	4	20	20
足場仮設 (箇所)		平坦地		1			
		傾斜15～30	1		1	1	1
		傾斜30～45					
特装車運搬		100m以下		1			
モノレール仮設・運搬		50m以下	1				
		50～100m					
		100～200m			1	1	9と共用



NO. 9
SH-34. 11
F11h

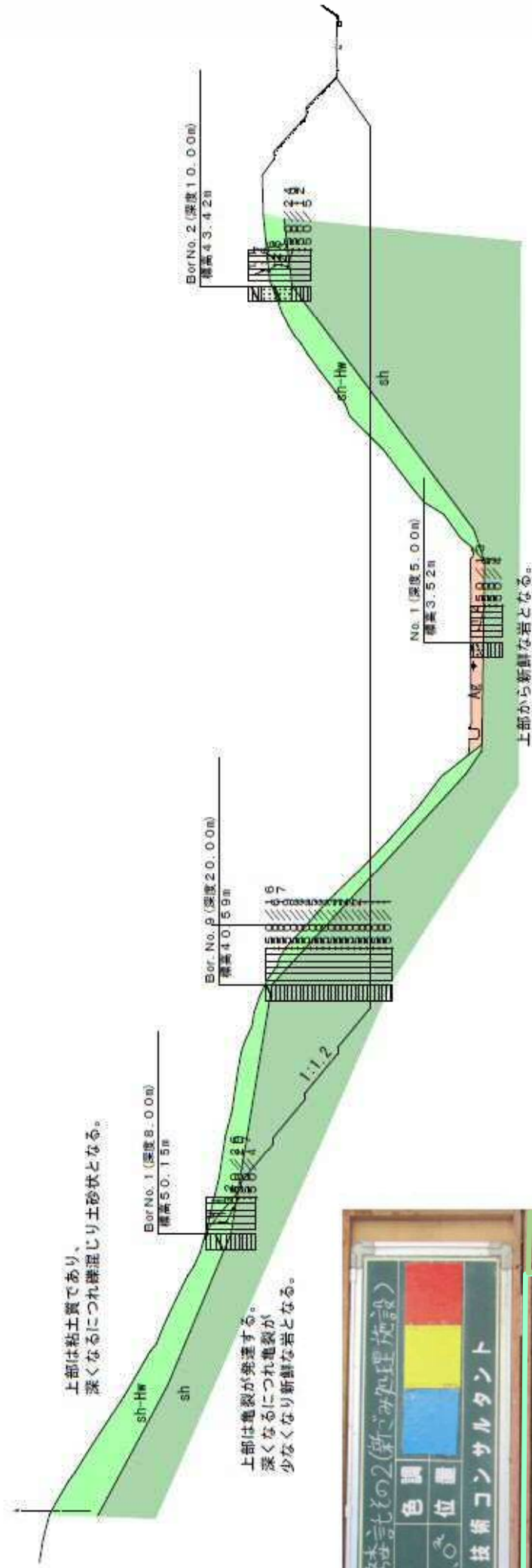


図4. 1-1 想定地質断面図 (測線NO. 9) S=1:1, 000

NO. 14
BH= 5.37
PH=

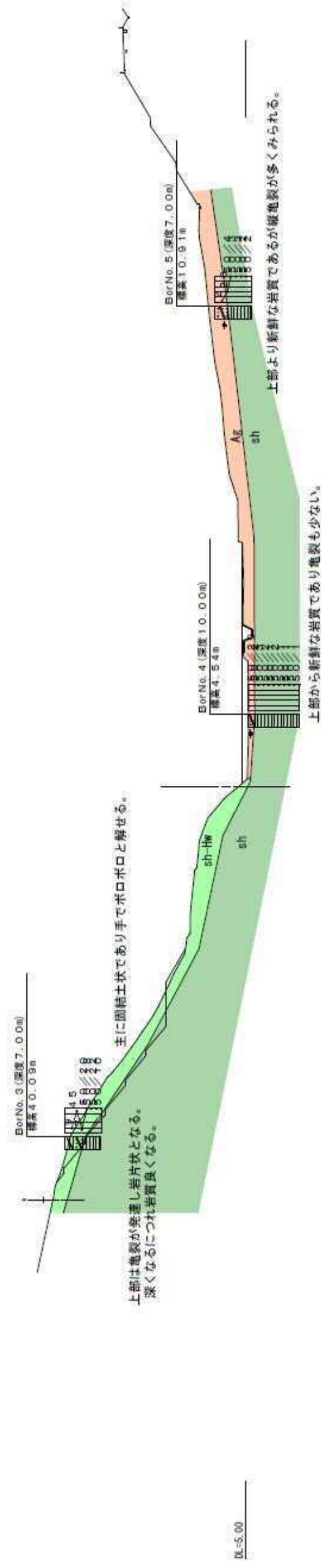


図4.1-2 想定地質断面図（測線NO. 14） S=1:1,000

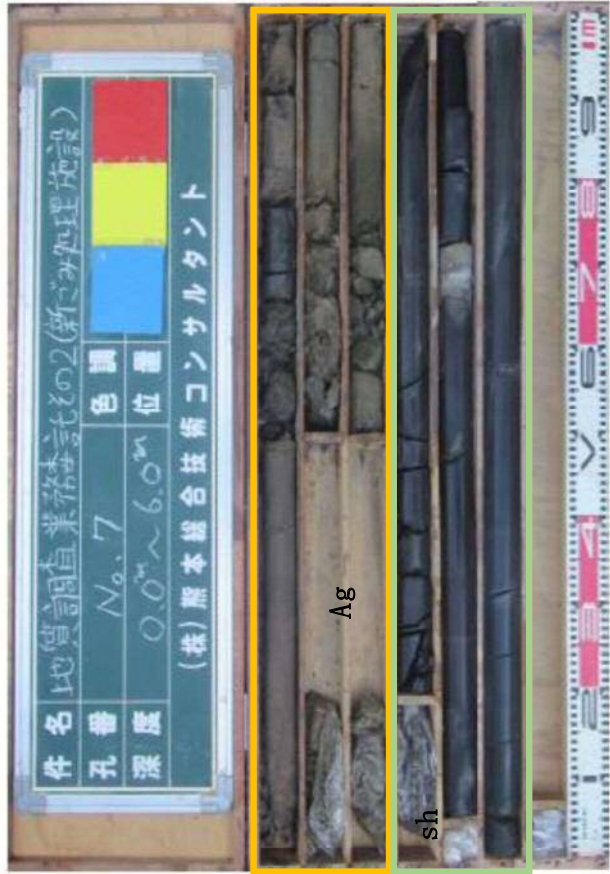
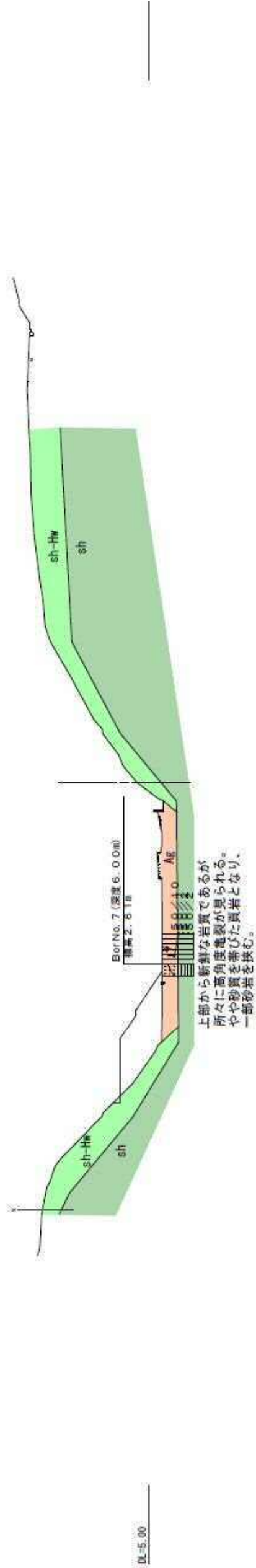
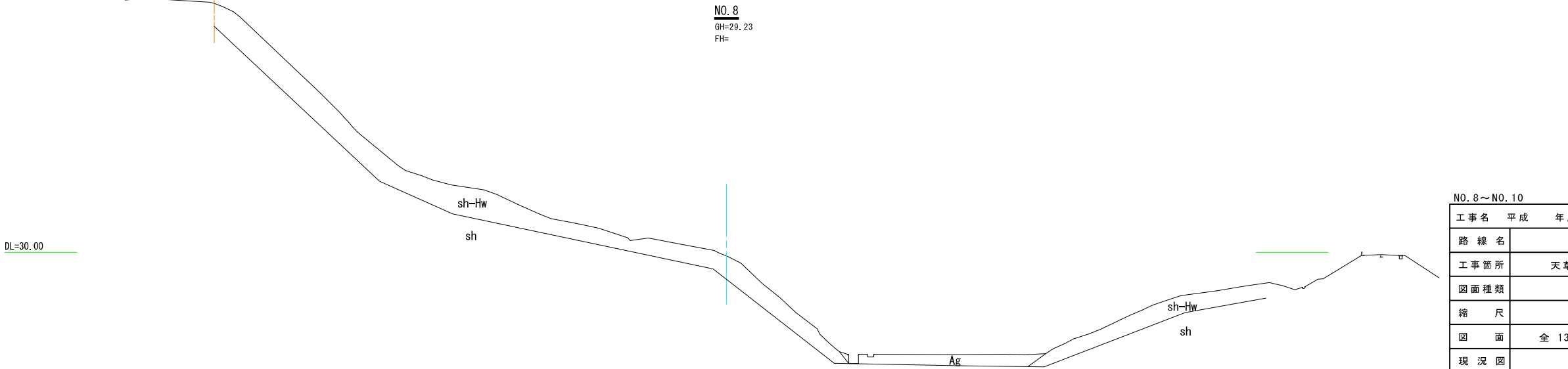
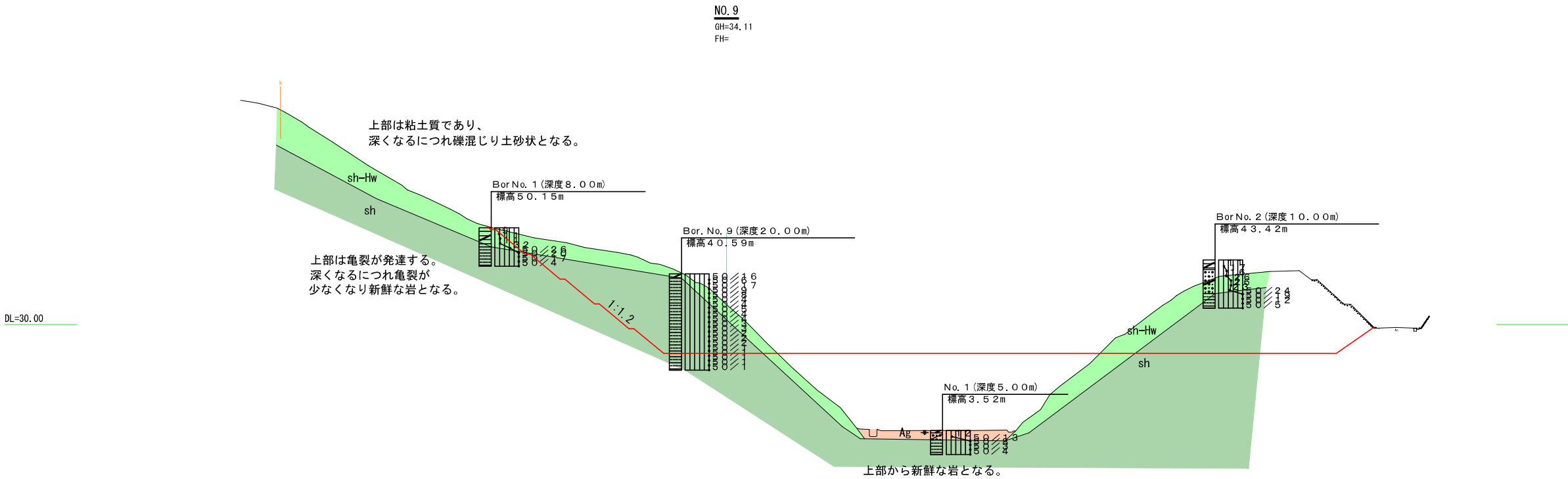
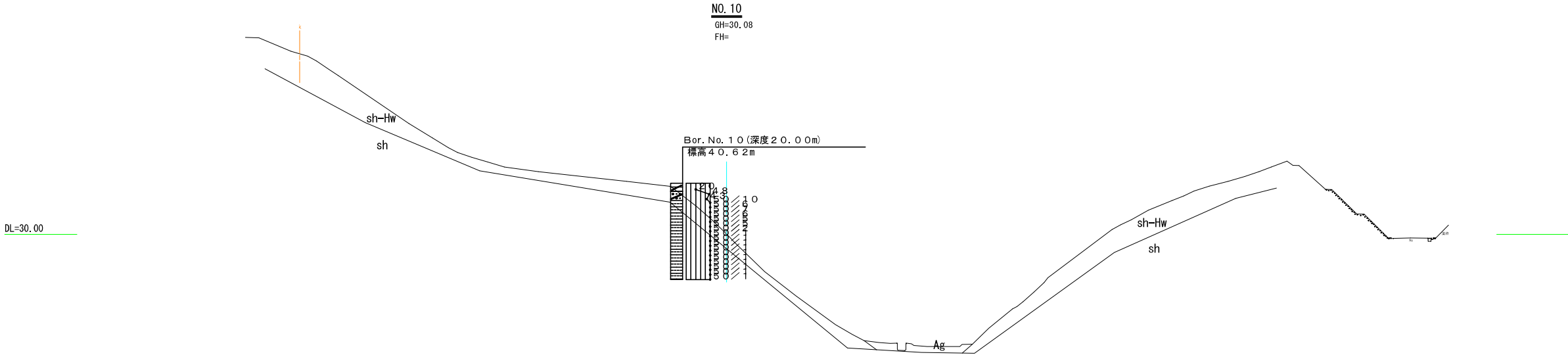


図4. 1-4 想定地質断面図 (測線NO. 19) S=1:1, 000



NO. 8～NO. 10			
工事名	平成	年度	工事
路 線 名	線		
工事箇所	天 草 市 楠 浦 町 地 内		
図面種類	横断図(4)		
縮 尺	S=1:500		
図 面	全 13 葉 第 6 号		
現 況 図			
発注機関名	天草広域連合 環境衛生課		

DL=10.00

DL=10.00

DL=20.00

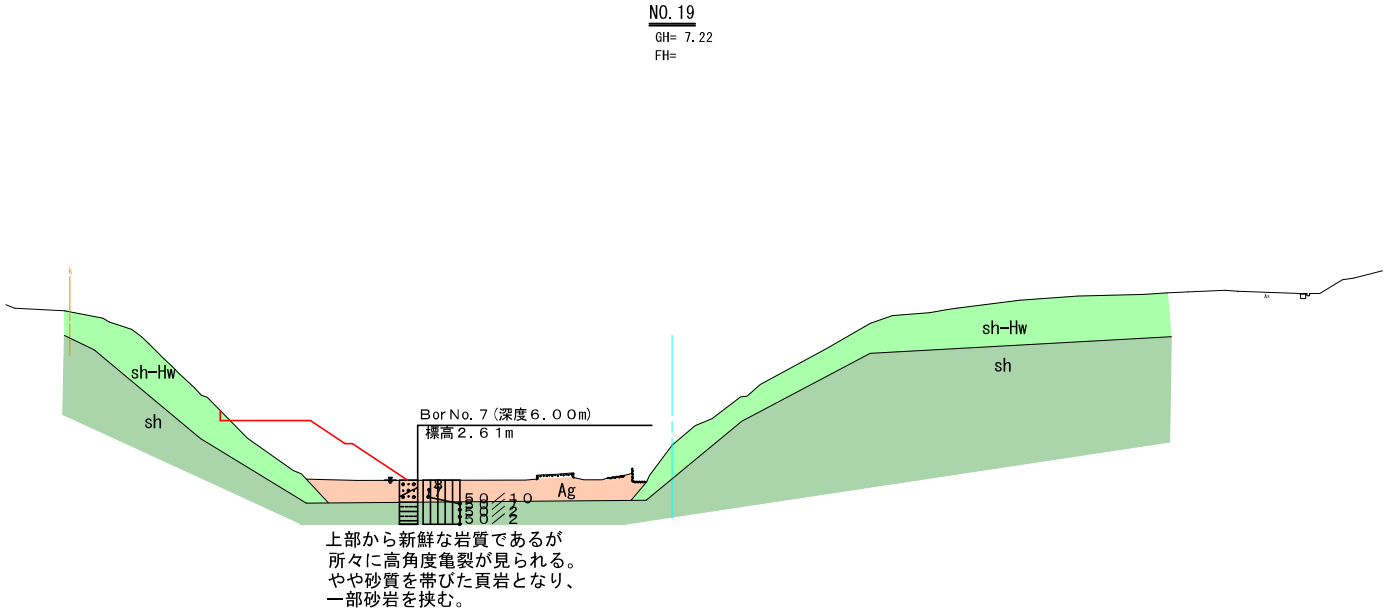
NO. 13
GH= 9.59
FH=

NO. 12
GH=11.85
FH=

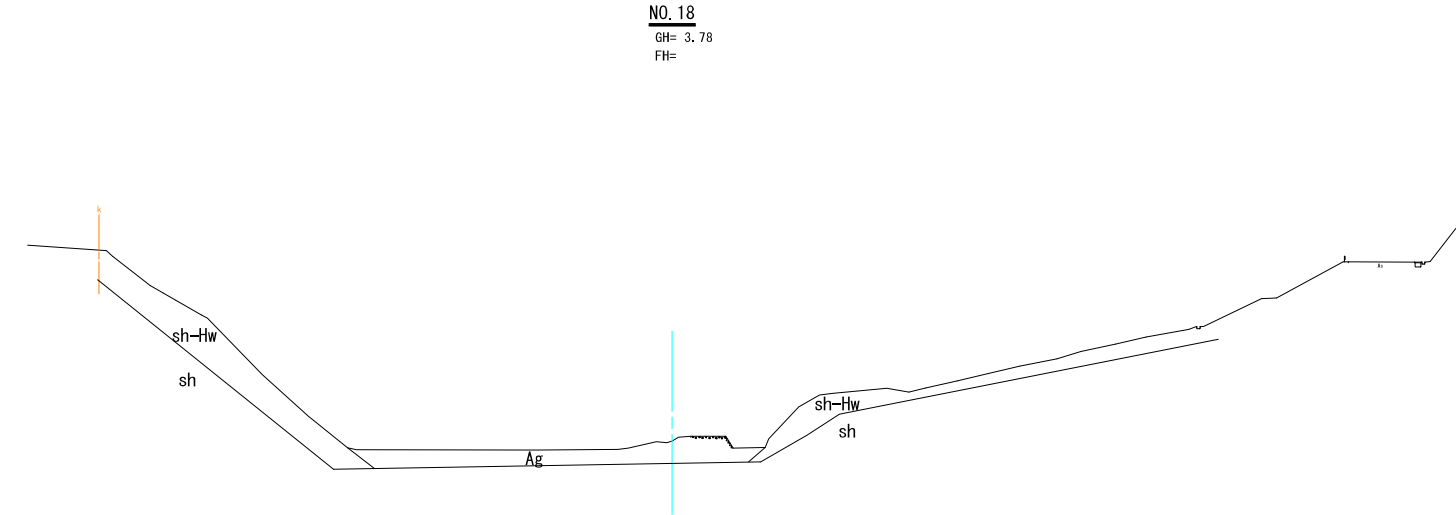
NO. 11
GH=23.52
FH=

NO. 11～NO. 13			
工事名	平成	年度	工事
路線名	線		
工事箇所	天草市楠浦町地内		
図面種類	横断面図(5)		
縮尺	S=1:500		
図面	全13葉	第7号	
現況図			
発注機関名	天草広域連合環境衛生課		

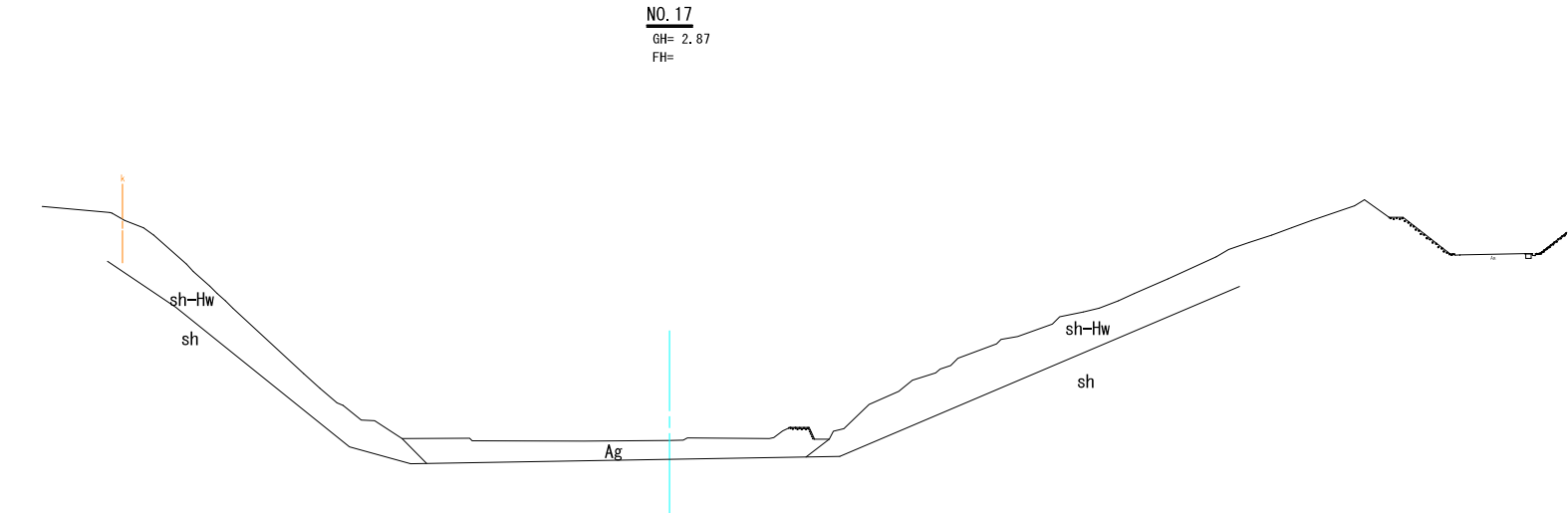
DL=5.00



DL=0.00



DL=0.00



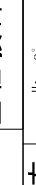
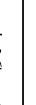
NO. 17～NO. 19			
工事名	平成	年度	工事
路線名	線		
工事箇所	天草市 楠浦町 地内		
図面種類	横断図(7)		
縮尺	S=1:500		
図面	全 13 葉 第 9 号		
現況図			
発注機関名	天草広域連合 環境衛生課		

ボーリング柱状図

ボーリングNo.	4	8	3	0	5	1	7	4	0	0	0
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

No. 1-

事業・工事名

ボーリング名	BarNo. 1	調査位置		熊本県天草市楠浦町地内		北	緯	32° 28' 58.0000"				
発注機関	天草広域連合		調査期間		平成31年 4月 2日～平成31年 4月 4日			東	経	130° 11' 04.0000"		
調査業者名	(株)熊本総合技術コンサルタント天草支店		主任技師	浜田 俊幸	現代	場 人	浜田 俊幸	ア 者	コ 鑑	ボ ー リ ン グ 責 任 者	田中 俊彰	
孔口標高	50.15m	方 角			地盤勾配			使用機種	試験錐	エンジン	ハンマー 落下用具	半自動型
総掘進長	8.00m	度	180° 上 下 0°		方向	90° 東 西 180° 南		ヤンマー NFAD-8 型	ポンプ	東邦地下 BG-3C 型		

[illegible]

ボーリング柱状図

調査名

地質調査業務委託その2（新ごみ処理施設）

ボーリングNo.

4

8

3

0

4

1

7

5

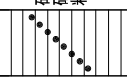
0

0

事業・工事名

シートNo.

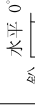
ボーリング名	BorNo. 2		調査位置	熊本県天草市楠浦町地内		北緯	32° 23′ 55.0000″	
発注機関	天草広域連合		調査期間	平成31年 4月11日～平成31年 4月15日		東経	130° 11′ 46.0000″	
調査業者名	(株)熊本総合技術コンサルタント天草支店		現代理人	浜田 俊幸		ボーリング責任者	松下 浩隆	
孔口標高	43.42m		使用機種	試験錐機 東邦地下 D-00 型		ハンマ落下用具	半自動型	
総掘進長	10.00m		地盤勾配	水平 0°		ポンプ	東邦地下 BG-3C 型	

標尺	m	m	層厚	m	柱状図	土質区分	色相対稠度	相対密度	記述	孔内水位／測定月日	標準貫入試験				原位置試験及び結果	試験採取			掘進月日
											深	度	m	N値		試験番号	採取方法		
1		41.42	2.00	2.00		砂利・機溜り粘性土	黄褐	硬い	φ20mm程度の亜角礫を含む。含水少なく、粘性は中程度。	4/15 無し	深	度	m	N	試験及び結果	試験番号	採取方法		
2											1.15	4	3	4	11/30	11			
3									最大φ40mm程度の風化礫を混入する。		1.45								
4									含水少なくハサパサした状態である。		2.15	4	6	7	17/30	17			
5									深度4.0～5.0m間は良く締まっている。		2.45								
6											3.15	5	5	6	16/30	16			
7											3.45								
8											4.15	8	8	10	26/30	26			
9											4.45								
10											5.15	9	9	8	26/30	26			
11											5.45								
12											6.15	8	7	8	23/30	23			
13											6.45								
14											7.00	20	21	9	50/424	63			
15											7.24								
											8.00	23	27	9	50/19	79			
											8.19								
											9.00	39	11	2	50/125	125			
											9.12								
											10.00	50			50/300	300			
											10.05	5			5				

ボーリング柱状図

ボーリングNo.	4	8	3	0	4	1	8	5	0	0	0
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

No. 1-

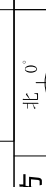
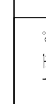
ボーリング名	BotNo. 3	調査位置		熊本県天草市楠浦町地内		北緯		32° 24' 01.0000"																
発注機関	天草広域連合		調査期間		平成31年 3月19日～平成31年 3月22日		東経		130° 11' 44.0000"															
調査業者名	(株)熊本総合技術コンサルタント天草支店 電話 0969-23-7170		主任技師		浜田 俊幸		現代		現場人		コ鑑		俊幸		ア者		浜田		俊幸		ボーリング グ責任者		田中 俊彰	
孔口標高	40.09m		方角		180° 上 下 0°		北 0° 270° 西 90° 東 180° 南		地盤勾配				使用機種		試験錐機		東邦地下 D-0D 型		ハンマー落下用具		半自動型			
総掘進長	7.00m		度		180° 上 下 0°				エンジン		ヤンマー NFAD-8 型		ポンプ		東邦地下 BG-3C 型									

[illegible]

ボーリング柱状図

ボーリングNo.	4	8	3	0	4	1	7	5	0	0
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

No. 1-

ボーリング名	BarNo. 4	調査位置		熊本県楠浦町地内	
発注機関	天草広域連合		調査期間		平成31年 3月 2日～平成31年 3月 6日
調査業者名	(株)熊本総合技術コンサルタント天草支店		主任技師	浜田 俊幸	現代
孔口標高	4.54m	方角		地盤勾配	
総掘進長	10.00m	度	180°	使用機種	エンジン
			0°	試験機	ヤンマー NFAD-8 型
			90°	場人	浜田 俊幸
			270°	コ鑑	ア者
			180°	浜田 俊幸	ポ一リン
			90°	東	田中 俊彰
			0°	北	緯 32° 23' 59.0000"
			180°	東	経 130° 11' 46.0000"

[illegible]

ボーリング柱状図

ボーリングNo.	4	8	3	0	4	1	7	5	0	0
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

No. 1-2

ボーリング名	BotNo.5	調査位置		熊本県天草市楠浦町地内		北	緯		32° 23' 56.0000"																	
発注機関	天草広域連合		調査期間		平成31年 3月 8日～平成31年 3月12日		東		経		130° 11' 48.0000"															
調査業者名	(株)熊本総合技術コンサルタント天草支店		主任技師		浜田 俊幸		現代		現場		コ 鑑 定 者		ア 者		ハンマー		落下用具		半自動型							
孔口標高	10.91m		方 向		180° 上 下 0°		角 度		北 0° 270° 西 90° 東 180° 南		地 盤 勾 配		使用機		試錐機		東邦地下 D-0D 型		エンジン		ヤンマー NFAD-8 型		ボ ン プ		東邦地下 BG-3C 型	
総掘進長	7.00m																									

[illegible]

ボーリング柱状図

調査名

地質調査業務委託その2（新ごみ処理施設）

ボーリングNo.

4

8

3

0

4

1

7

5

0

0

0

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	BorNo.8	調査位置	熊本県天草市楠浦町地内		北緯	32° 23′ 57.0000″	
発注機関	天草広域連合	調査期間	平成31年 4月 2日～平成31年 4月 4日		東経	130° 11′ 43.0000″	
調査業者名	(株)熊本総合技術コンサルタント天草支店 電話 0969-23-7170	主任技師	浜田 俊幸	現代理人	場人	浜田 俊幸	ボーリング責任者
孔口標高	40.51m	角	180° 上 下 0°	方	北 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
総掘進長	4.00m	度					

標尺	m	m	層厚	m	柱状図	土質区分	色相対稠度	記	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験					原位置試験	試験採取			掘進月日																	
											深	度	m	N	値		深	度	m		試験及び結果	深	度	m	試験番号	採取方法											
1	39.81	0.70	0.70	砂利・礫混り粘性土	黄褐	φ10mm程度の風化頁岩礫を僅かに含む。 含水少なく粘性は中程度である。 主に礫状～短柱状コアとして採取される。 亀裂が多く亀裂面に薄く粘土を挟む。 全体的に透水する。 深度3.0m以深はやや亀裂は発達するものの岩質は良くなる。	4/4 無し	深	度	m	10cm毎の打撃回数	0	1	0	2	0	3	0	打撃回数／貫入量	50 9	167	0	10	20	30	40	50	60	試験及び結果	深	度	m	室内試験	掘進月日			
2											深	度	m	10cm毎の打撃回数	0	1	0	2	0	3	0	打撃回数／貫入量	50 15	100	0	10	20	30	40	50	60	試験及び結果	深	度	m	室内試験	掘進月日
3											深	度	m	10cm毎の打撃回数	0	1	0	2	0	3	0	打撃回数／貫入量	50 13	115	0	10	20	30	40	50	60	試験及び結果	深	度	m	室内試験	掘進月日
4	36.51	3.30	4.00								深	度	m	10cm毎の打撃回数	0	1	0	2	0	3	0	打撃回数／貫入量	50 5	300	0	10	20	30	40	50	60	試験及び結果	深	度	m	室内試験	掘進月日
5											深	度	m	10cm毎の打撃回数	0	1	0	2	0	3	0	打撃回数／貫入量			0	10	20	30	40	50	60	試験及び結果	深	度	m	室内試験	掘進月日
6											深	度	m	10cm毎の打撃回数	0	1	0	2	0	3	0	打撃回数／貫入量			0	10	20	30	40	50	60	試験及び結果	深	度	m	室内試験	掘進月日
7											深	度	m	10cm毎の打撃回数	0	1	0	2	0	3	0	打撃回数／貫入量			0	10	20	30	40	50	60	試験及び結果	深	度	m	室内試験	掘進月日
8											深	度	m	10cm毎の打撃回数	0	1	0	2	0	3	0	打撃回数／貫入量			0	10	20	30	40	50	60	試験及び結果	深	度	m	室内試験	掘進月日
9											深	度	m	10cm毎の打撃回数	0	1	0	2	0	3	0	打撃回数／貫入量			0	10	20	30	40	50	60	試験及び結果	深	度	m	室内試験	掘進月日

ボーリング柱状図

ボーリングNo.	4	8	3	0	4	1	7	5	0	0	0
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

No. 1-2

ボーリング名	BoNo. 9	調査位置	熊本県天草市楠浦町地内	北緯	32° 23' 57.0000"
発注機関	天草広域連合	調査期間	平成31年 6月 1日～平成31年 6月10日	東経	130° 11' 43.0000"
調査業者名	(株)熊本総合技術コンサルタント天草支店 電話 0969-23-7170	主任技師	浜田 俊幸	現代	現場 俊幸
孔口標高	40.59m	方角	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	使用	鉛直 水平 90° 
総掘進長	20.00m	度	上 180° 下 0°	機種	エンジン
				試験機	東邦地下 D-0D 型
				コ 鑑 定 者	ア 松 下 浩 隆
				ボ ー リ ン グ 責 任 者	松 下 浩 隆
				ハンマ一落	半自動型
				ポンプ	東邦地下 BG-3C 型

[illegible]

ボーリング柱状図

ボーリングNo.	4	8	3	0	4	1	7	5	0	0
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

No. 1-2

ボーリング名	BarNo. 10	調査位置	天草市楠浦町地内	北緯	32° 23' 58.0000"
発注機関	天草広域連合	調査期間	平成31年 7月 8日～平成31年 7月18日	東経	130° 11' 43.0000"
調査業者名	(株)熊本総合技術コンサルタント天草支店 電話 0969-23-7170	主任技師	浜田 俊幸	現代理人	場 場 場 人 人 人 浜田 俊幸 コ 鑑 鑑 定 定 定 ア 者 者 松 下 松 下 浩 隆 浩 隆 浩 隆 ボ ー リ ン グ 責 任 者
孔口標高	40.62m	方 向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	使用機	ハンマー 落下用具
総掘進長	20.00m	角 度	180° 上 下 0°	試験機	東邦地下 D-0D 型
				エンジン	ヤンマー NFAD-8 型
				機種	ポンプ
					東邦地下 BG-3C 型

[illegible]

(平成30年度調査)

ボーリング柱状図

ボーリングNo.	4	8	3	0	4	1	7	5	0	0	0
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

シート No.

調査名平成30年度地質調査業務委託（新ごみ処理施設）

事業・工事名

ボーリング名	No.1	調査位置	天草市楠浦町 地内	北緯	32° 23′ 56.0000″
発注機関	天草広域連合	調査期間	平成30年 5月25日～平成30年 5月25日	東経	130° 11′ 43.0000″
調査業者名	(株)コンサルハマダ 天草支店 電話 0969-23-7100	主任技師	中元 学	現代理人	場所板崎 賢寿
孔口標高	KBM 3.52m	角	方	地盤勾配	ハンマ落下用具
総掘進長	5.00m	度	向	使用機種	ポンプ

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対稠度	相対密度	記	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試験採取方法		室内試験	掘進月日	
												深度	10cm毎の打撃回数	打撃回数／貫入量	N値		試験及び結果	深度			試験番号
	3.02	0.50	0.50		砂利・礫層 シルト	黄褐			旧耕作土と思われ、含水少なく緩い。 φ30mmまでの角礫・亜角礫点在する。 含水非常に多く、マトリックスは緩い。	0.45											
1						灰						1.15	5	3	4	12	30				
2	1.52	1.50	2.00		粘土混り砂礫				WCTの送水掘進により、岩片状～棒状コアに採取される砂質を帯びた頁岩。 2.40m～2.60m間はやや新鮮で、一部棒状コアに採取される。 3.5m以深は、岩質よくなり4.75mまでは、短柱状～棒状コア。 全体に変色は少ない。			2.15	26	24	3	50	115				
3						黒灰						3.00	50	8	50	188					5
4												4.00	50	3	50	500					25
5	-1.48	3.00	5.00									5.00	50	4	50	375					28
6																					
7																					
8																					
9																					
10																					